

英語科教育 理論研修会 終了報告

テーマ	コミュニケーション能力育成を目指す授業の創造	
日時	平成28年7月27日(水)	
会場	石狩教育研修センター	
講師	<p>太田 洋 氏 <small>(東京家政大学 人文学部 教授)</small></p>	
参加者	43名	
研修会 の 様子		<p>講師の太田先生は、東京都の中学校、東京学芸大学附属世田谷中学校教諭、駒沢女子大学人文学部国際文化学科教授を経て、現在、東京家政大学人文学部教授として指導にあたっていらっしゃいます。光村図書発行の文部科学省検定教科書『COLUMBUS21 ENGLISH COURSE』著者を務めるとともに、英語教育に関する本を多数出版されるなど、大変有名な先生です。</p>
		<p>本研修会では、「コミュニケーション能力育成を目指す授業の創造～内容理解の次へ」と題し、教科書本文などを理解した後にどのようなアウトプットをするかという視点から、授業改善の提案をいただきました。</p>
		<p>最初に「コミュニケーション能力」が、文法能力、談話能力、社会言語学的能力、方略的能力からなることを示していただきました。また、生徒の実態などをふまえ、授業の中で教師がどのように意識していくべきかを具体的にお話していただきました。</p>
		<p>英語教師が関心を持っている教科書の扱い方について、「本文の内容理解の後、何をしていますか」と参加者に尋ね、参加者どうしが自分の授業を振り返っていました。そして、内容理解の後の活動を考える際の7つの視点を提示していただき、教材研究の際のヒントを出していただきました。</p>
		<p>最後に、実際のダイアログを使って、7つの視点をもとにどのような活動が考えられるかをペアで話し合い、演習をしました。太田先生からは「長続きする無理をしてみる」、「output でミスがあったら文法指導も行う」、「ミスの訂正はポイントを絞って」など、私たちの授業作りへのアドバイスをいただきました。参加者からは、教材研究が楽しみになった、授業に生かしたいという声がたくさん聞かれました。</p>

